

大学院リサイタルシリーズ④

アマビエに願いを込めて

2020.10.3 (SAT) 15:00start 14:30open

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F



クラリネット
伊藤仁美
鈴木由紀子 ピアノ

A. ベルク / 4つの小品 作品5より 第1, 3, 4曲
Alban Berg // 4 Stucke, Op. 5

J. ブラームス / クラリネット・ソナタ第1番
へ短調作品120-1より 第1, 3, 4楽章
Johannes Brahms //
Sonate für Klarinette und Klavier F-moll op.120-1

サクソフォーン
澁谷隆宏
井上友美 ピアノ

C. バスカル / ソナチネ
Claude Pascal // Sonatine

P. ランティエ / シシリエンヌ
Pierre Lantier // Sicilienne

A. デザンクロ / 前奏曲、カデンツァと終曲
Alfred Desenclos // Prelude, Cadence et Final

マリンバ
石川まみ

M. フォード / ヘイ・ヘイ・ヘイ
スウィート・ドリームス
MarkFord // HeyHeyHey
Sweet Dreams

P. チェイン / クラシカルソナタより第2, 4楽章
PiusCheung // ClassicalSonata

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

伊藤仁美

クラリネット

北海道出身。日本女子大学卒業。2016年ABRSM英国王立音楽検定クラリネット
でディプロマの学位を取得。第14回大阪国際音楽コンクール入選。第17回長江
杯国際音楽コンクール3位。

これまで渡部大三郎、千葉直師、坂口雅教、白川毅夫 の各氏に師事。2017年と2019
年の草津国際音楽アカデミーで四戸世紀氏のマスタークラスを受講。現在、大浦綾子、
松本健司の各氏に師事。室内楽を大浦綾子氏に師事。洗足学園音楽大学大学院2年
在学中。



A. ベルク(1885-1935) / 4つの小品 作品5より 第1, 3, 4曲

非常に短い曲が集められ、アフォリストティック(警句的)な特徴を持ち、シェーンベルクの
言葉によるとそれは「一大小説をたった1つの身振りで表現する」ものであるという。古典的
な形式の4楽章のソナタと考えることもできないわけではないという指摘がある。

第1曲 中庸の速度で (Mäßig) 全12小節。4/4拍子。

第3曲 きわめて速く (Sehr rasch) 全18小節。6/8拍子。

第4曲 遅く (Langsam) 全20小節。4/4拍子。

J. ブラームス(1833-97) / クラリネット・ソナタ第1番 へ短調 op.120-1より第1,3,4楽章

ブラームス、最後の室内楽曲である。60歳を目前にしたブラームスは、親しい人々を亡く
し、老いや作曲家としての衰えを感じ、作品111の弦楽五重奏曲第2番を以て、作曲家とし
ての筆を折る決意をしている。しかし、そこから再び作曲に向かうエネルギー、インスピレ
ーションを与えたのは、マイニンゲン宮廷管弦楽団のクラリネット名手、リヒャルト・ミュ
ールフェルトであった。やがて、三重奏曲、五重奏曲、ソナタの順にクラリネットを含む四曲
の室内楽曲が生み出され、自身の芸術に深い奥行きを与える作品群として、晩年の到達点と
なった。

クラリネット三重奏曲、五重奏曲の完成(1891年)から3年の間に、さらに孤独感が強まっ
ていたが、クラリネットの憂いを帯びた音色が心に寄り添うのか、クラリネットへの情熱は
なお去らず、クラリネットとピアノによるソナタが枝番で2曲生み出された。ソナタ形式の
中に、抒情性が丹念に織り込まれている。

I. Allegro appassionato

ソナタ形式。熱のこもったピアノのユニゾンから始まる。劇的な展開を見せる。

III. Allegretto grazioso

三部形式。レントラー風の穏やかな間奏曲。短調で下降する長い柔和な旋律に、短調のシ
ンコペーションが重なり、ブラームスの訴えが聞こえてくるようである。

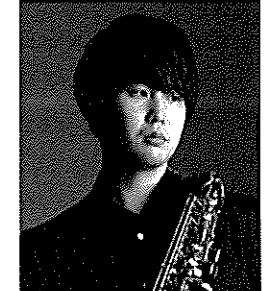
IV. Vivace

ロンド形式。悲しみの中に見出した慰め。快活なフィナーレで締め括る。

渋谷隆宏

サクソフォーン

山口県出身。島根大学教育学部音楽教育専攻を卒業。サクソフォーンを安部浩
信、桑野尚文、池上政人の各氏に師事。



© Shigeto Imura

C. バスカル(1921-2017) / ソナチネ

《ソナチネ》は、1948年に行われた、パリ高等音楽院の卒業試験のために作曲された作品であ
り、サクソフォーン科教授のマルセル・ミュールに捧げられている。作曲者のクロード・バスカ
ルはフランスの作曲家、教育者、批評家であり、10歳でパリ音楽院に入学した早熟の作曲家であ
る。《ソナチネ》はバスカルが27歳の時に作曲した楽曲で、彼の初期の作品に分類される。クラ
シカルサクソフォーンのレパートリーの中でも極めて重要な作品として、国際コンクールの課題
などに取り上げられるなど、現在でも演奏の機会が多い。単一楽章で作曲されているが、変化に
富んだ楽曲構成になっている。

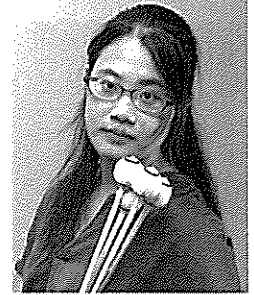
P. ランティエ(1910-98) / シシリエンヌ

《シシリエンヌ》は、フランスの作曲家ピエール・ランティエが1944年に作曲したサクソフォ
ーンとピアノのための小品である。ランティエはこの作品の他にも数曲、サクソフォーンのため
の作品を作曲しているが、その中でも演奏される機会が多い楽曲である。シシリエンヌとはシチ
リアーナと同義で、8分の6拍子か8分の12拍子の緩やかな音楽である。またシチリアーナは
舞曲の一種とされ、通常は短調で作曲されるが、この曲は基本的に長調の穏やかな曲調であるこ
とが特徴的である。

A. デザンクロ(1912-71) / 前奏曲、カデンツァと終曲

《前奏曲、カデンツァと終曲》はフランスの作曲家アルフレッド・デザンクロが、1956年に行
われたパリ高等音楽院の卒業試験のために作曲した作品である。また、この曲は同時にサクソフ
ォーン科教授であるマルセル・ミュールに献呈されている。プレリュード、カデンツァ、フィナ
ーレの3つの楽章から構成されており、それぞれが途切れることなく演奏される。分散和音的な
フレーズで静かに曲が幕を開け、技巧的で、繊細な表現を要する膨大なカデンツァを経て、フィ
ナーレで最大の盛り上がりを見せる。最後はピアノとのサクソフォーンのユニゾンで印象的に曲
が締めくくられる。サクソフォーンのレパートリーの中でも最も重要な楽曲の1つであり、サク
ソフォーンの様々な表情を引き出す名曲である。

神奈川県出身。13歳より打楽器を始める。三浦学苑高等学校音楽選択コース卒業。洗足学園音楽大学打楽器コース卒業。これまでにマリンバ・打楽器を高田亮、小川佳津子、塚越慎子の各氏に師事。室内楽を石井喜久子氏に師事。アニメーション映画「リズと青い鳥」のレコーディングに参加。幼稚園や保育園での演奏活動も幅広く行っている。今年15日に開催される大学院コンチェルトの夕べ、ソリストに選出。現在、洗足学園音楽大学大学院修士課程2年次在学中。



M.フォード(b1958) / ヘイ・ヘイ・ヘイ、スウィート・ドリームス

《HeyHeyHey と SweetDreams は MarkFord の#MarimbaBaby という、マリンバ歌集の楽譜の中に入っている曲であり、現在のクラシック音楽、西洋音楽の中には子守歌のような音楽が少なくなってきたことから、作曲者自身の娘への贈り物としてこの歌集が創られた。今回はその歌集の中から、2曲を選んだ。

1曲目の HeyHeyHey は8分の6拍子で、1拍目の動きと2拍目の動きで役割が違い、主に2拍目の音を繋げて聞くとメロディーになって聴こえてくる作りがされている。この動きが曲の最初から最後まで使われているが、強弱の変化などによってその場面ごとの表情は同じ動きが繰り返されていても変わって聴こえてくるのが面白いところである。

2曲目の SweetDreams は1曲目と同じく8分の6拍子ではあるが、雰囲気が大きく変わり軽くダンスをするような、聴いている人が自然と体を左右に揺らしたくなる曲調で始まる。だんだんと盛り上がり、後半は陽気な曲調になったり元に戻ったりしながら、最後は優しく収まっているような曲になっている。

P.チェイン(b.1982) / クラシカルソナタより第2、4楽章

《ClassicalSonata》は、作曲者本人がベートーヴェンのスタイルを用いて初めて作曲した曲である。パイアス・チェン自身が作曲家及びマリンバ奏者であり、音楽の歴史の中で最も偉大なベートーヴェンへのリスペクトとして伝統的なソナタ形式を用いて曲ができています。

この曲は全部で4つの楽章から構成されており、1楽章はテンポが速くてノリもよい。2楽章はゆったりと歌うようなエレガントさで、美しいメロディーが繰り返されながら進んで行き、最後は冒頭の主題に戻ってきてそのままゆったりと終結へと向かう。

3楽章は短いスケルツォ。4楽章はエネルギーで力強いメロディーの部分と、流れるようなフレーズで大きく歌うようなメロディーの部分が何度も入れ替わり、少しずつ調が変化しながら曲が進み、最後は元の調に戻って華やかに終結する。今回はその中から2楽章と4楽章を演奏する。